



トマトキバガに対する防除対策について (令和8年4月1日版)

熊本県農業革新支援センター



トマトキバガとは

ライフサイクル



植物体上、株元
及びマルチ裏
で蛹化



約27日/世代
(25°C条件)

蛹

幼虫

トマトキバガとは

野外での誘殺消長

- ・ “5月～7月” と “9月～12月” での誘殺が多い
- ・ 夏秋トマト産地は、“9月～12月” での誘殺が特に多い

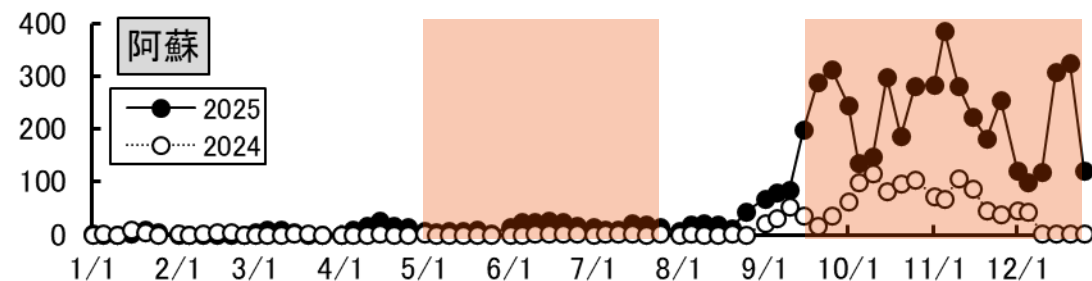
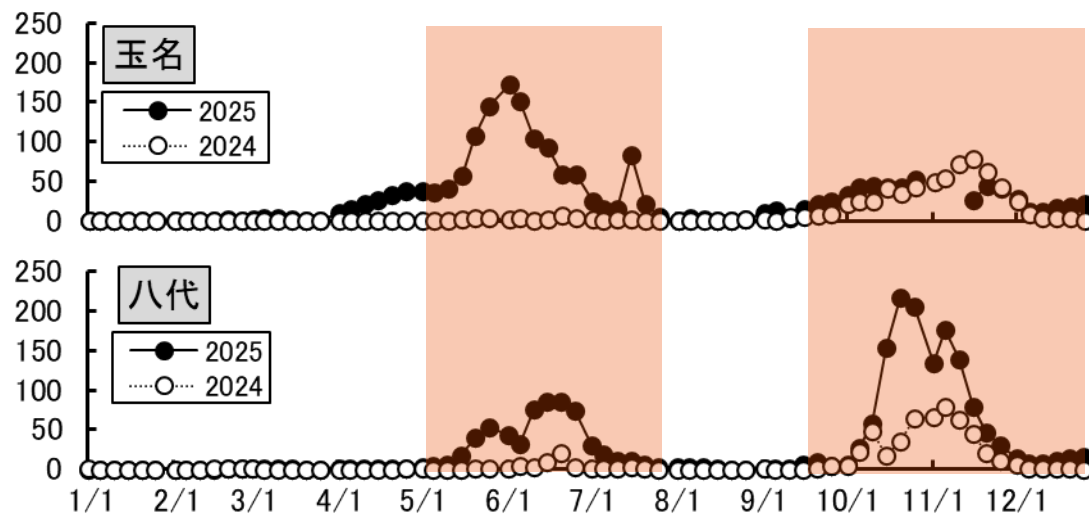


図 地点別の誘殺数の推移

(病害虫防除所調査)

トマトキバガとは

野外誘殺数の変化

- ・ 誘殺数は、年々増加
- ・ 県内に広く分布
(特に夏秋トマト産地が多い)

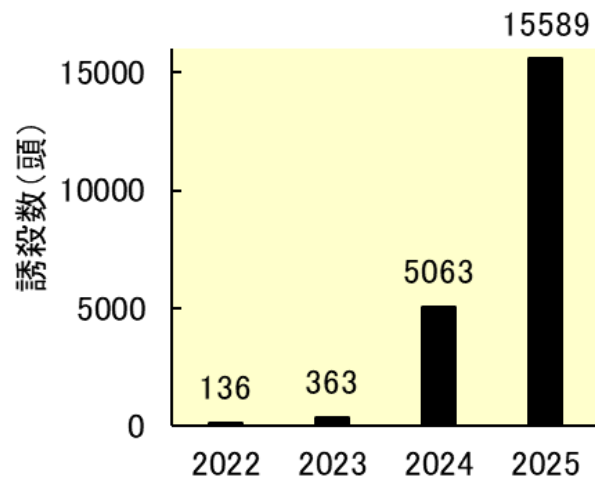
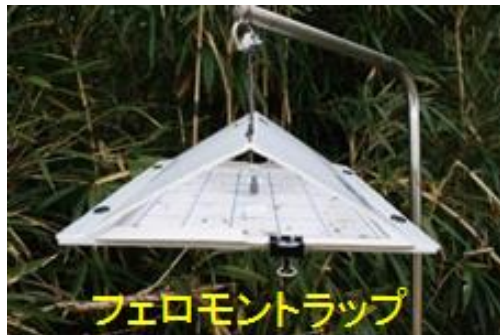


図 年別累積誘殺数

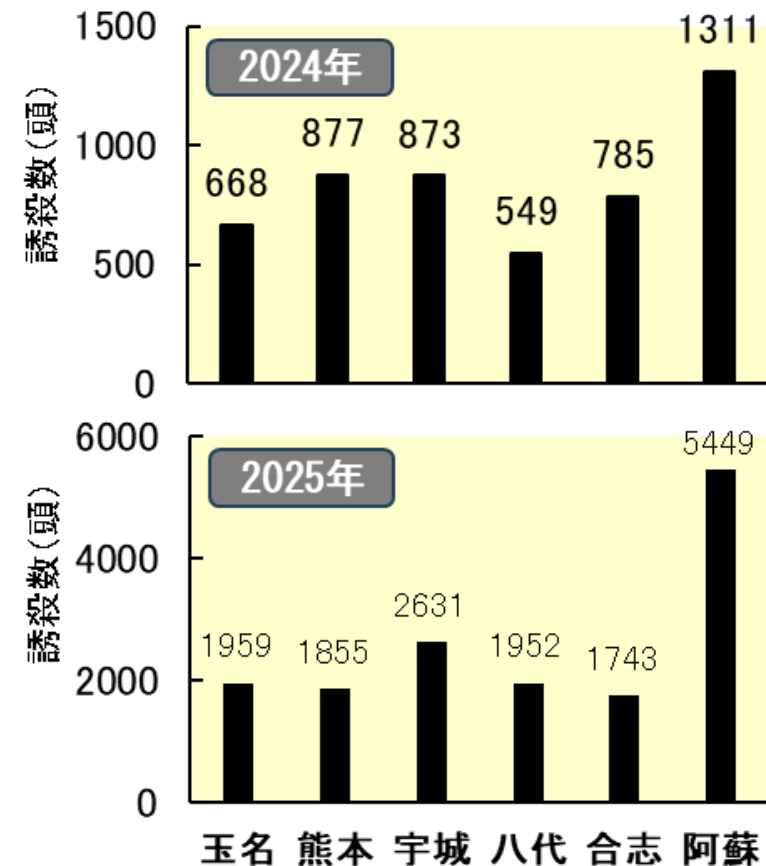


図 地点別累積誘殺数

(病害虫防除所調査)

トマトキバガとは

防除の考え方

作物や雑草の中で トマトを好む

室内試験では、トマト、ナス、バレイショ及びナス科雑草（イヌホオズキ、ワルナスビ）などで発育。

しかし、**トマトを最も好む。**



トマトハウス以外 では見つからない

全国的にみても、トマトハウス以外（野外の雑草も含めて）で幼虫が見つかることは、ほとんどない。

主にトマトハウス内で増殖している可能性が高い。



対策のポイント

トマトハウス周辺での防除対策が重要。

スローガン

タバココナジラミ対策と同様に

- ①「入れない」
- ②「増やさない」
- ③「出さない」

対策のポイント

重点的に行う対策

「入れない」

- ハウス周辺の除草
- 防虫ネットの展張

「増やさない」

- 定期的な農薬施用
- 早期発見

「出さない」

- 出荷しない果実の適正管理
- 栽培終了後の密閉処理

「入れない」対策

ハウス周辺の除草

- ・ トマトキバガの寄主植物となるイヌホウズキ、ワルナスビ等のナス科を中心とした雑草の除草を徹底



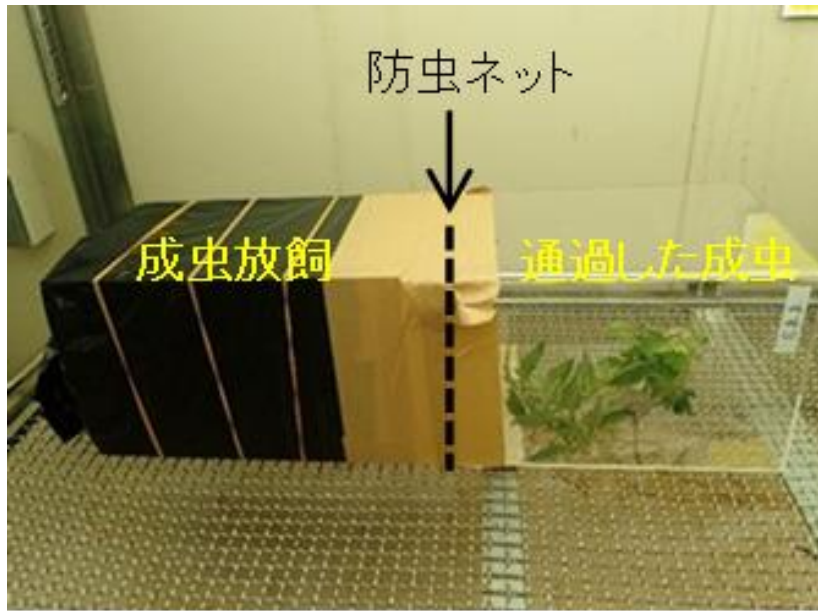
室内試験での食害の状況

(病害虫研究室原図)

「入れない」対策

開口部への防虫ネットの展張

- 目合い1mm以下の防虫ネットは、成虫の通過を抑制し、ハウス内に入れない対策として有効



成虫での防虫ネット通過試験

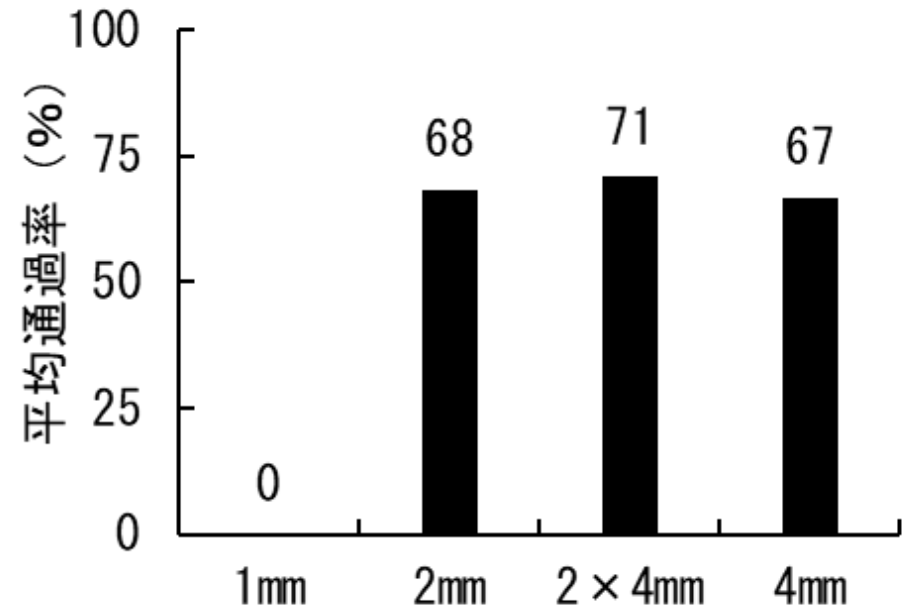


図 成虫の平均通過率

(病害虫研究室調査)

「増やさない」対策

キバガを意識した農薬施用

現在まで、国内では登録農薬での明らかな感受性の低下は確認されていない。

登録あり＝効果あり



定植時の
薬剤施用



定期的な
薬剤散布

定期的に登録農薬を施用

トマトに登録がある農薬の一部がミニトマトに登録の無いため注意が必要。

【ミニトマトに登録の無い農薬】

- ①アグリメック
- ②トルネードエースDF
- ③ファイントリムDF

ト マ ト : 14成分9系統
ミニトマト : 12成分8系統

R8. 3. 30現在

しかし

「増やさない」対策

早期発見

早期に食害を見つける（葉）

トマトキバガ



幅が広い

似ている食害痕

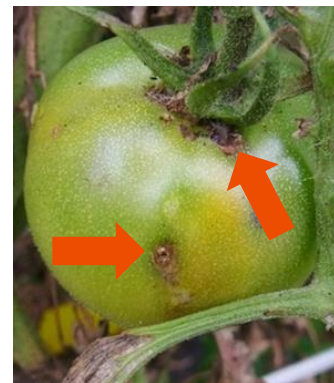
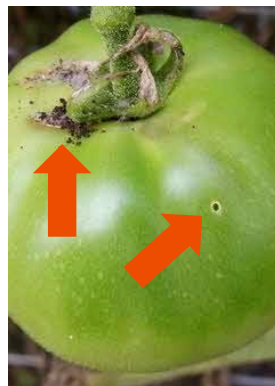
ハモグリバエ



幅が狭い

早期に食害を見つける（果実）

トマト



ミニトマト



「出さない」対策

出荷しない果実の適正管理



- ①埋設
又は
- ②ビニール被覆



古いビニール等

- 果実内の幼虫を成虫にさせない
- 羽化した成虫を野外へ出さない



「出さない」対策

栽培終了後の密閉処理

- ・ 株を枯らして、ハウスを密閉
- ・ 果実を野外に放置しない（埋設orビニルをかける）



密閉処理



果実へのビニルかけ

「出さない」対策

ハウス密閉処理の優良事例

- ・ 7月8日に密閉し、8月11日まで維持（33日間）
- ・ 廃棄マルチは、密閉したハウス内で保管

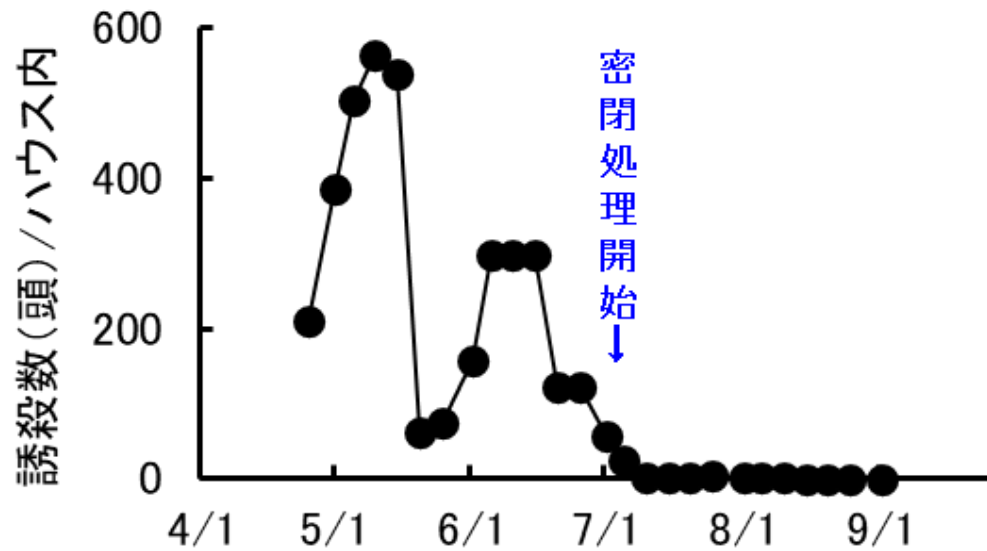


図 ハウス内における誘殺数

(病害虫防除所調査)

廃棄マルチも密閉ハウス内で保管